

ROLLING MASTER  
卓上巻寿司ロボット  
(TSM-900RSR型)

取扱説明書



本機を正しく安全に使用して頂く為に  
ご使用前には必ずお読みください。

機種/型式	卓上巻寿司ロボット(TSM-900RSRA/B型)
本体寸法	幅38 奥行60 高さ50cm
電 源	A型 115V / B型 240V
消費電力	MAX120W
本体重量	42kg



総発売元：株式会社トップ

大阪府吹田市垂水町3丁目17-10



TEL 06-6380-3577

◎安全のために御使用前にお読みいただき、必ずお守りください。

●誤った取扱をした場合に生じる危険とその程度を、▲警告 ▲注意の表示で区分して説明しています。

☒記号の意味は次の通りです。

 禁止     接触禁止     アース線接続     指示に従い行う




 電源プラグを抜く     分解禁止

**▲警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重症などに結びつく可能性のあるもの。**

<p>電源プラグはコードを引っ張って抜かない</p> <p>●破損し火災の原因になります</p> <p> 禁止</p>	<p>長期間ご使用にならない時は電源プラグを抜く</p> <p>●感電・漏電・火災の原因になります</p> <p> プラグを抜く</p>
<p>電源コードは傷つけない</p> <p>●ねじったり、物を載せたり、はさみ込んだりすると破損して、感電や火災の原因になります</p> <p> 傷つけ禁止</p>	<p>各取外し部品は本体より取外して洗浄する</p> <p>●ケガや事故の原因になります</p> <p> 取外す</p>
<p>傷んだコードやプラグ差込みがゆるいコンセントは使わない</p> <p>●感電・ショート・発火の原因になります</p> <p> 使用禁止</p>	<p>取外し部品以外の本体には水をかけない</p> <p>●感電・ショート・発火の原因になります</p> <p> 禁止</p>
<p>湿気の多い場所や水のかかる場所への設置は避ける</p> <p>●感電・ショート・発火の原因になります</p> <p> 設置禁止</p>	<p>運転中のホッパー内には手や指を入れない</p> <p>●手や指を巻き込んでケガや事故の原因になります</p> <p> 禁止</p>
<p>アースをする</p> <p>●感電事故の原因になります</p> <p> アース線接続</p>	<p>運転中の各ローラー部には手や指を入れない</p> <p>●手や指を巻き込んでケガや事故の原因になります</p> <p> 禁止</p>
<p>分解・改造はしない</p> <p>●感電・発火・ケガの原因になります</p> <p> 分解禁止</p>	<p>運転中の機械各回転部には手や指を入れない</p> <p>●手や指を巻き込んでケガや事故の原因になります</p> <p> 禁止</p>
<p>電源プラグはほこりを取りプラグの根元まで確実に差し込む</p> <p>●発火・火災の原因になります</p> <p> ほこりを取る</p>	<p>部品の取外しや取付けは電源を切ってから行う</p> <p>●手や指を巻き込んでケガや事故の原因になります</p> <p> 電源を切る</p>
<p>ガス漏れに気づいたら本体や電源プラグに触れずに窓を開けて換気する</p> <p>●電気接点の火花により爆発・火災の原因になります</p> <p> 換気</p>	<p>幼児・子供には触らせない</p> <p>●ケガや事故の原因になります</p> <p> 接触禁止</p>
<p>こげ臭い等の異常時は電源プラグを抜き運転を中止する</p> <p>●異常のまま運転を続けると感電や火災などの原因になります</p> <p> プラグを抜く</p>	<p>ホッパーにご飯や酢飯以外の物はいれない</p> <p>●ケガや故障の原因になります</p> <p> 禁止</p>









**注意 誤った取扱いをしたときに、死亡や重症などに結びつく可能性のあるもの。**

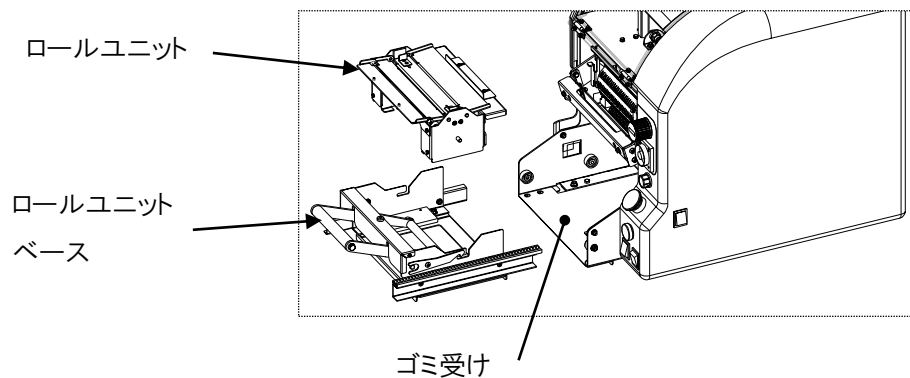
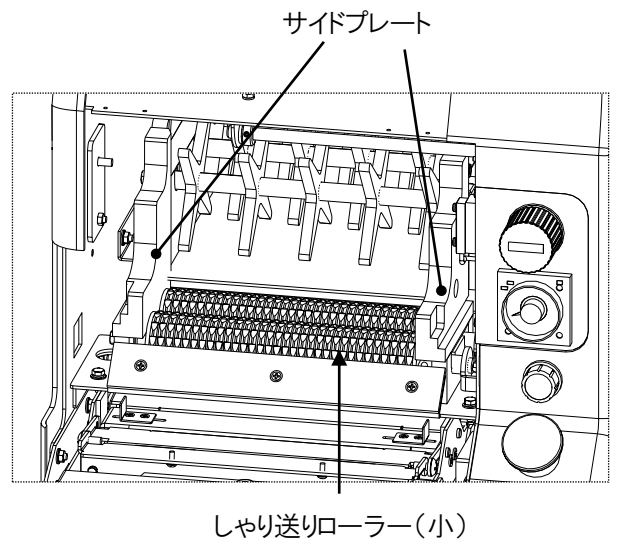
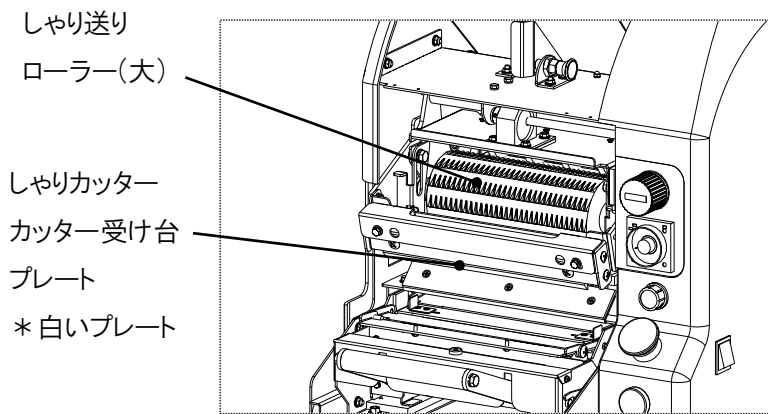
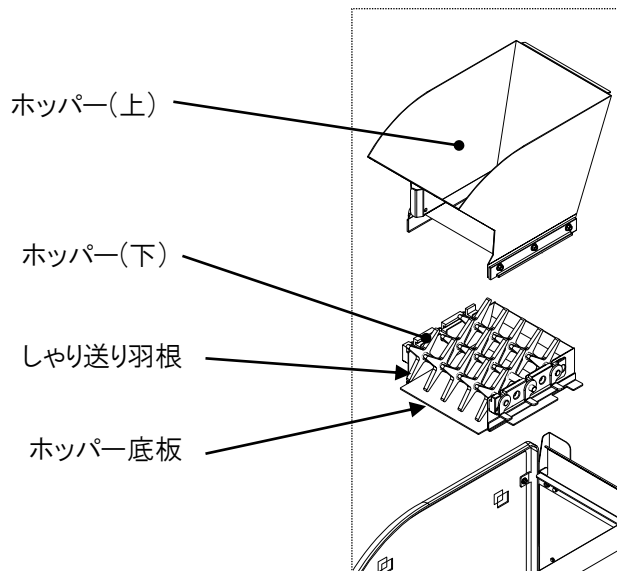
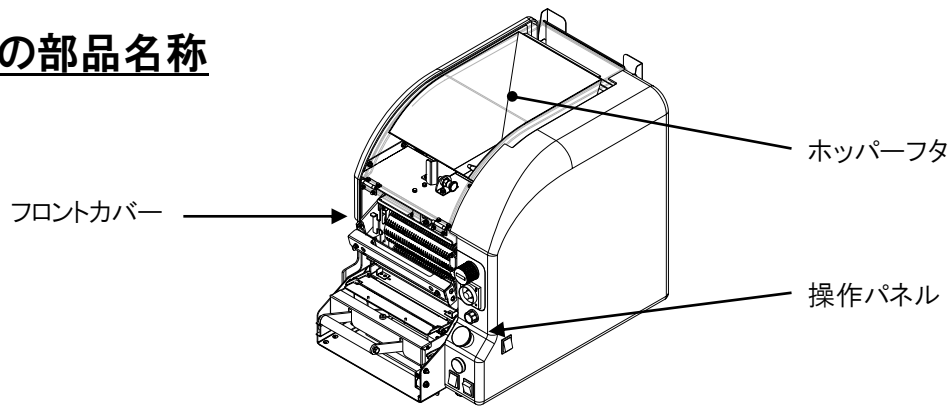
<p>機械管理理解者の元で使用する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●理解せずに使用するとケガや事故の原因になります</li> </ul> <p style="text-align: right;"> 理解する</p>	<p>移動・運搬するときはしっかりと持って移動する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●機械が落下しケガや事故の原因になります</li> </ul> <p style="text-align: right;"> しっかりと持つ</p>
<p>ヒーター内蔵部は直接手で触らない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ヤケドの原因になります。</li> </ul> <p style="text-align: right;"> 禁止</p>	



**注意 誤った取扱をしたときに、障害または家屋・家財などの損害に結びつくもの**

<p>機械テフロン加工部は硬いブラシや硬いスポンジ等で洗わない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●テフロン加工がはがれる原因になります</li> </ul> <p style="text-align: right;"> 禁止</p>	<p>部品を変形させない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●正常に部品組立ができずに故障の原因になります</li> </ul> <p style="text-align: right;"> 禁止</p>
<p>取外し部品以外の機械本体にかかったオイルや油分はきれいに拭き取る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●部品劣化や破損の原因になります</li> </ul> <p style="text-align: right;"> 拭き取る</p>	<p>床が丈夫で水平な場所に設置する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●機械が倒れて機械・家屋の破損やケガの原因になります</li> </ul> <p style="text-align: right;"> 水平に据付</p>
<p>取外した樹脂・プラスチック部品は食器洗浄機や熱湯で洗わない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●部品変形・破損の原因になります</li> </ul> <p style="text-align: right;"> 禁止</p>	<p>移動・運搬するときはしっかりと持って移動する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●機械が落下し機械や家屋の破損の原因になります</li> </ul> <p style="text-align: right;"> しっかりと持つ</p>

# 本体各部の部品名称



## 部品取外し方法

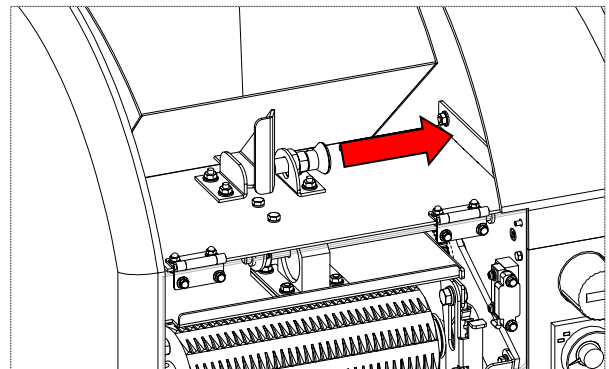
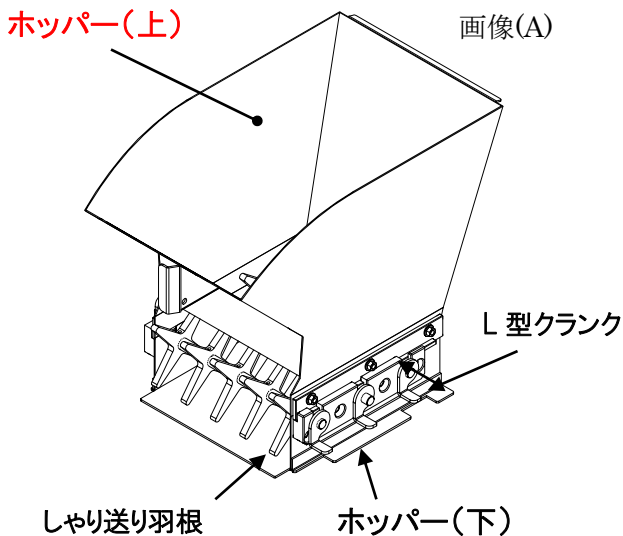
### 注意

取外した部品は金ブラシや硬いスポンジなどで洗わない事、テフロン加工が傷む原因になります。  
取外した部品は食器洗浄機では洗わない事、部品の変形や破損の原因になります。

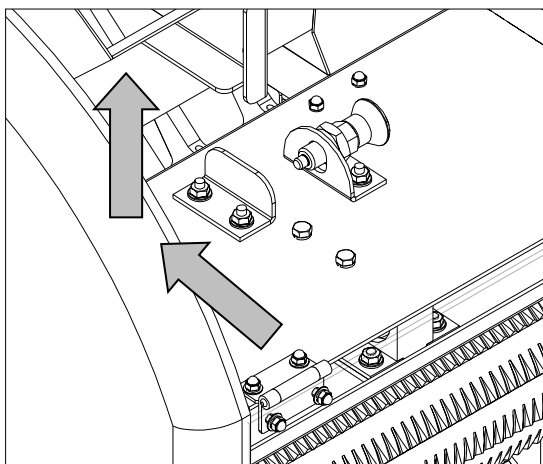
### □ホッパーの取外し方法

### 危険

部品を取付け・取外する時は必ず電源スイッチを切ること  
電源を入れたままホッパーの中には手を入れないこと！  
回転部(しゃり送り)に手を巻き込み大ケガの原因になります。

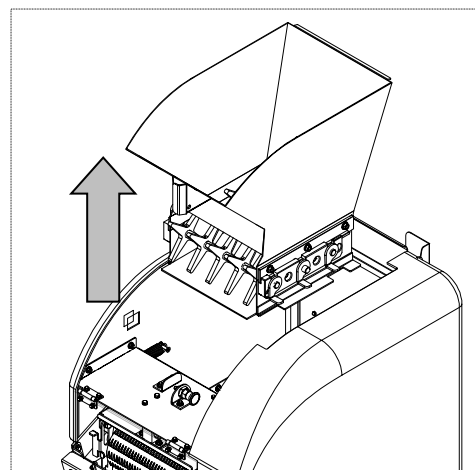


- ①ホッパーの蓋を外します。次に手前に有るホッパーロックを解除します。

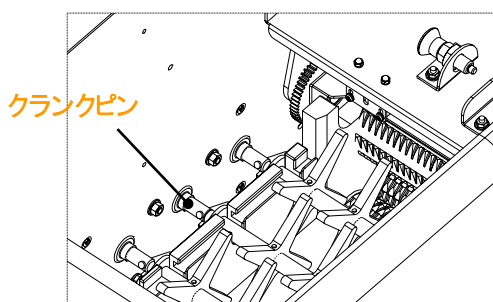


- ②ホッパー(上)を手で後ろ側に押しスライドさせます。

**\*1cmほど後ろにスライドします。**



- ④ホッパーの前側と後部の取手を持ち、そのままホッパー全体を上を持ち上げて本体より外して下さい。



\*上に外れない時は、このページの写真(A)のL型クランクが本体側のクランクピン(左写真)とひっかかっていますので、しゃり送り羽根を手で少し回転させて引っかからないようにして下さい。

# 部品取外し方法

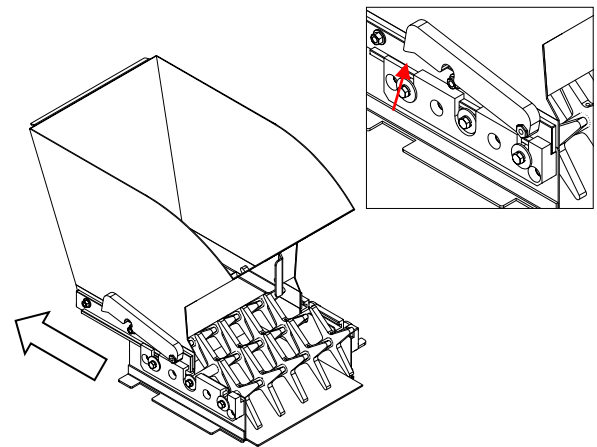
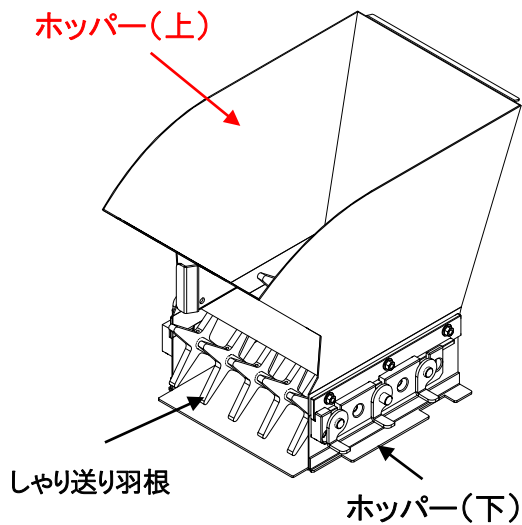


取外した部品は金ブラシや硬いスポンジなどで洗わない事  
テフロン加工が傷む原因になります。  
取外した部品は食器洗浄機では洗わない事  
部品の変形や破損の原因になります。

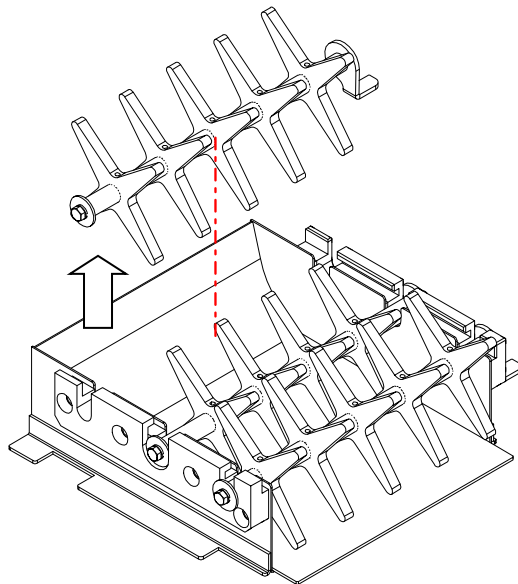
## □ホッパー(上)・(下)・底板/しゃり送り羽根の取外し方法



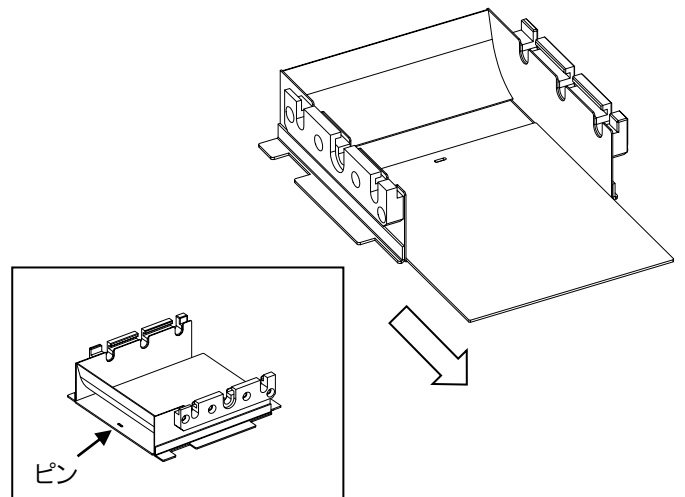
部品を取付け・取外する時は必ず電源スイッチを切ること  
電源を入れたままホッパーの中には手を入れないこと！  
回転部(しゃり送り)に手を巻き込み大ケガの原因になります。



①本体より取外し後、ホッパー(上)を後ろ側にスライドさせてホッパー(下)より外します。



②しゃり送り羽根を3本とも上に外します。



④最後にホッパー底板をホッパー(下)より外します。

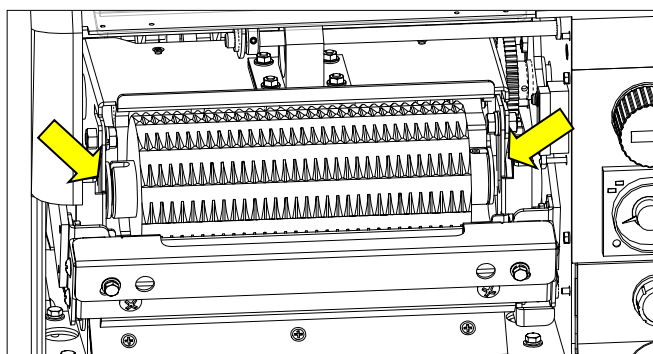
\* 底板後部の穴がホッパー(下)のピンにはまっていますので少し浮かせて前側に引いて外して下さい。

## 部品取外し方法

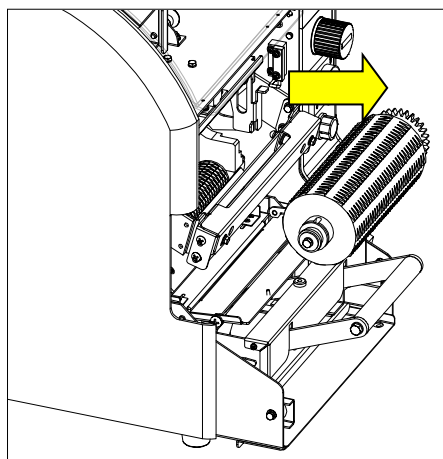
**危険**

部品を取付け・取外する時は必ず電源スイッチを切ること  
電源を入れたままローラーの中には手を入れないこと！  
回転部(ローラー部)に手を巻き込み大ケガの原因になります。

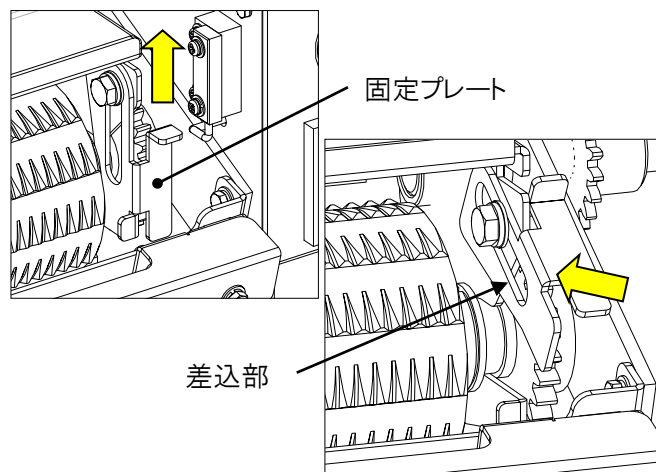
### 口しゃり送りローラー(大)・サイドプレートの取外し方法



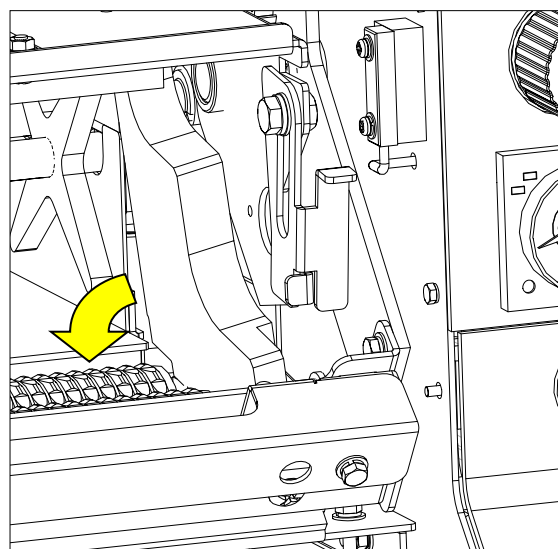
- ①まずフロントカバーを上を開き左右のローラー固定プレートのツマミ(矢印部)を上にあげるとローラー固定プレートのロックが解除されます。



- ③次にローラー中央を手で持ち、手前に引いて本体より外します。



- ②解除した固定プレートは左右の各上部に有る差込み部にいったん入れます。



- ④左右のサイドプレートを内側に倒し、外します。

**\*フロントカバーが開いているときは電源が入っても機械は作動しません。**

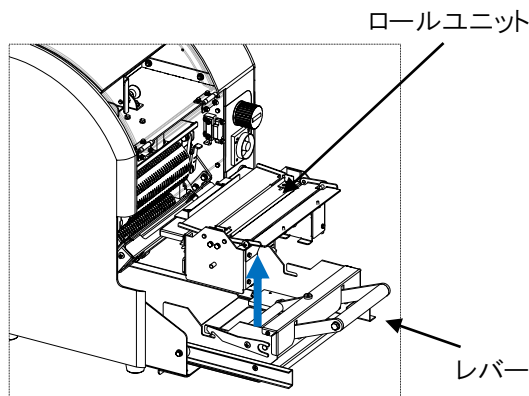
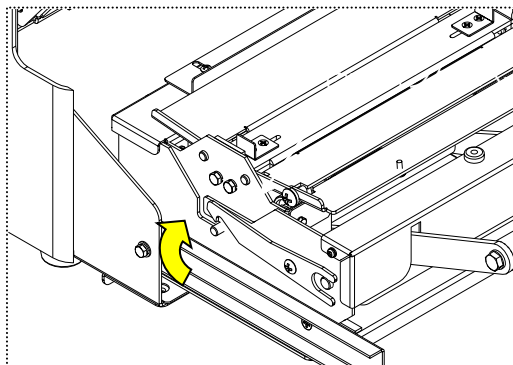


## 部品取外し方法

**危険**

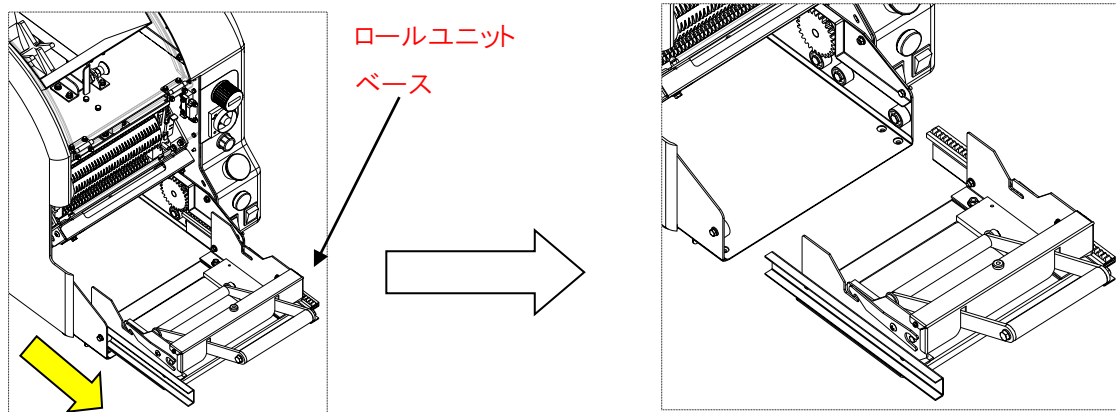
部品を取付け・取外する時は必ず電源スイッチを切ること  
機械作動中はロールユニットやローラーには手を触れない事！  
回転部(ローラー・スライドテーブル)に手を巻き込み大ケガの原因になります。

### □ロールユニット取外し方法



- ①左右に有るセッティングレバーを上げながら、ロールユニットを前方向にスライドさせる。
- ②次にロールユニットを上側に持ち上げると、ロールユニットベースからロールユニットが外れます。

### □ロールユニットベース取外し方法



- ①ロールユニットベースをしっかり持ち、手前方向に引くと本体より外れます。

**注意**

取外した部品は金ブラシや硬いスポンジなどで洗わない事  
テフロン加工が傷む原因になります。  
取外した部品は食器洗浄機では洗わない事  
部品の変形や破損の原因になります。

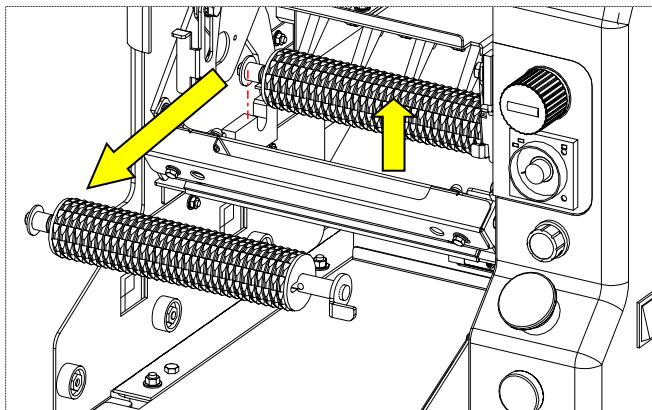


## 部品取外し方法

**危険**

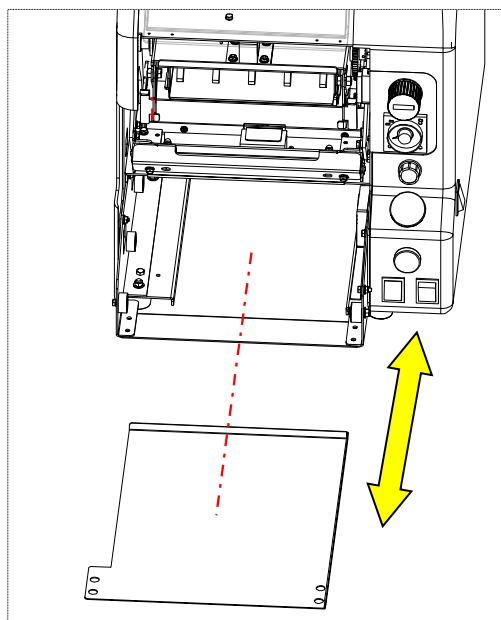
部品を取付け・取外する時は必ず電源スイッチを切ること  
電源を入れたままローラーを取外さないこと！  
回転部(ローラー)に手を巻き込み大ケガの原因になります。

### □しゃり送りローラー(小)方法



- ①しゃり送りローラー(小)を1本ずつ下側から手で押して上に持ち上げ手前に外します。

### □ゴミ受け取外し方法



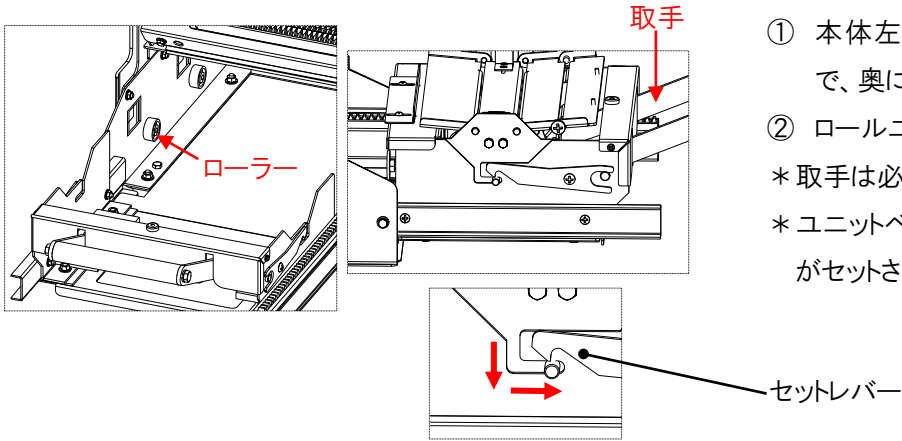
- ①手前を上を持ち上げ、そのまま手前方向に外します。

# 部品取付け方法

**危険**

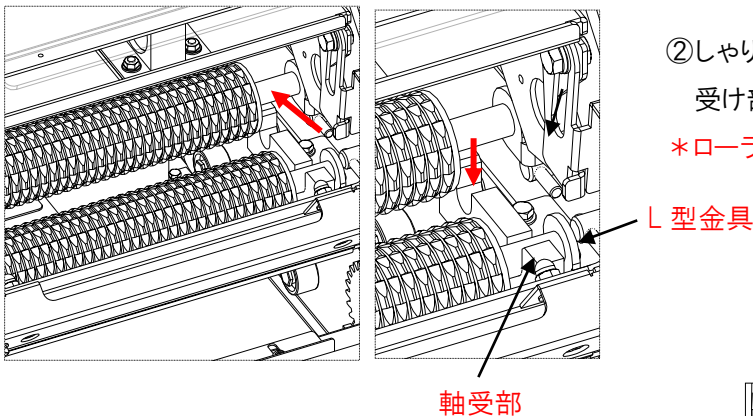
部品を取付け・取外する時は必ず電源スイッチを切ること。  
ケガや事故の原因になります。

## □ロールユニット・ユニットベース取付け方法



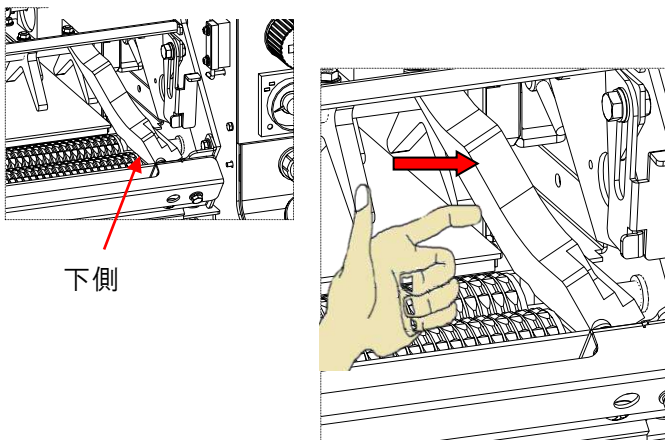
- ① 本体左右のローラーにユニットベースを差し込んで、奥に押込んで下さい。
- ② ロールユニットをユニットベースにセットする。  
\* 取手は必ず上にあげた状態でセットして下さい。  
\* ユニットベースを手前に引いて、左右のセットレバーがセットされているか確認して下さい。

## □しゃり送りローラー(小)取付け方法

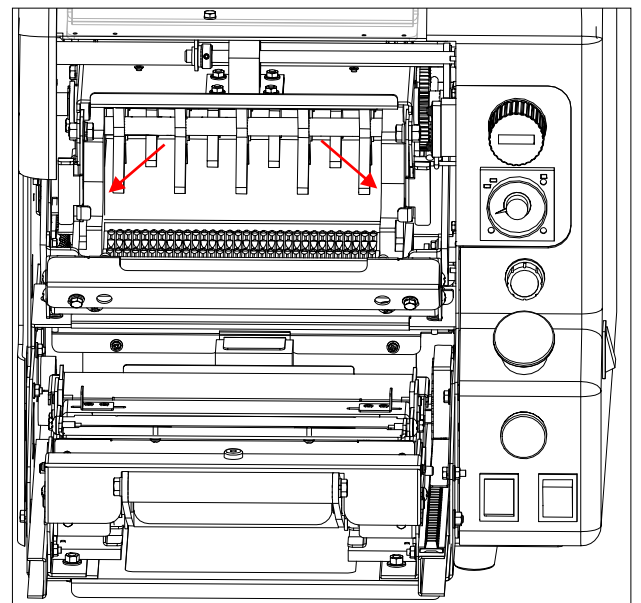


- ②しゃり送りローラー(小)を1本ずつ、本体の軸受け部に上から取付けます。  
\*ローラーに付いているL型金具が右側です。

## □サイドプレート取付け方法



- ①サイドプレートの下側をしゃり送りローラー(小)の横に差込み、上側を押すと取付きます。



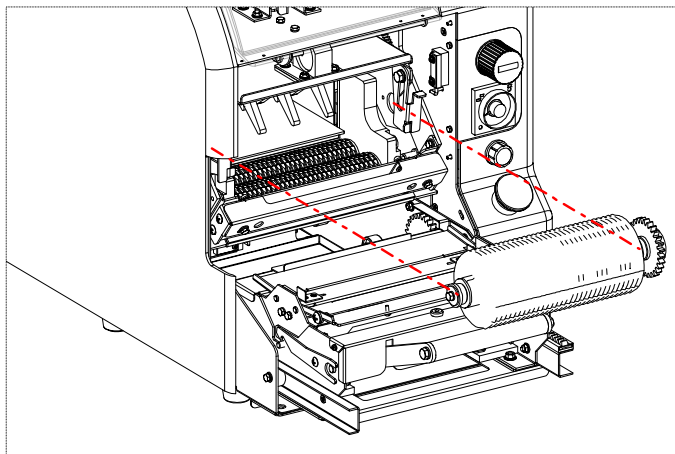
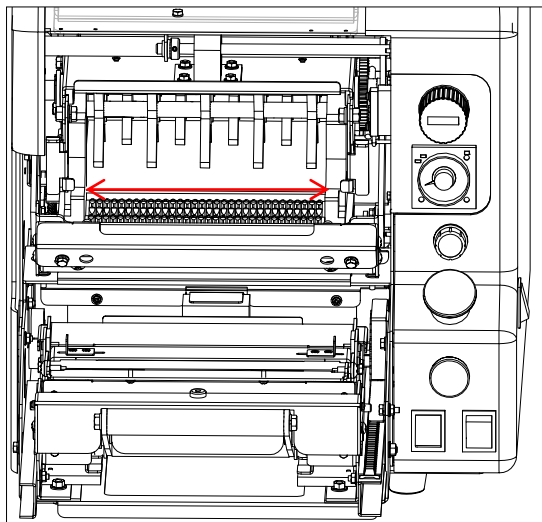
- ②左右共に同じように取付けます。  
\* 右用・左用あり

## 部品取付け方法

**危険**

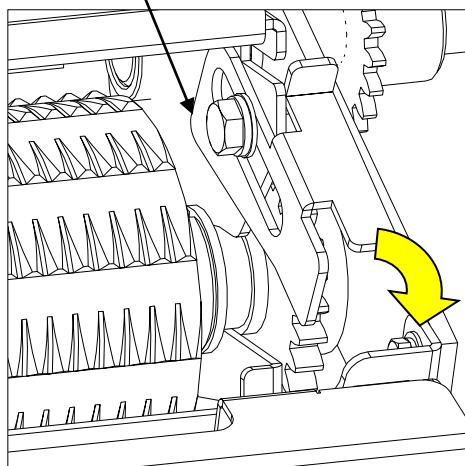
部品を取付け・取外する時は必ず電源スイッチを切ること  
電源を入れたままローラーの中には手を入れないこと！  
回転部(ローラー)に手を巻き込み大ケガの原因になります。

### □しゃり送りローラー(大)の取付け方法

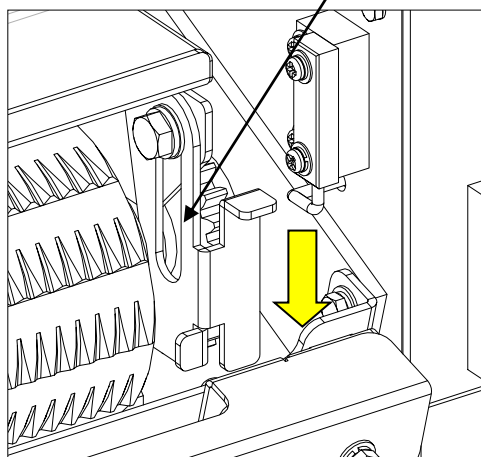


①左右のガイドローラーの間にしゃり送りローラー(大)を前からはめて取付けます。

固定プレート



差込部



②固定プレートを手前に引いて倒し、差込部に上から差込みます。\*左右共に

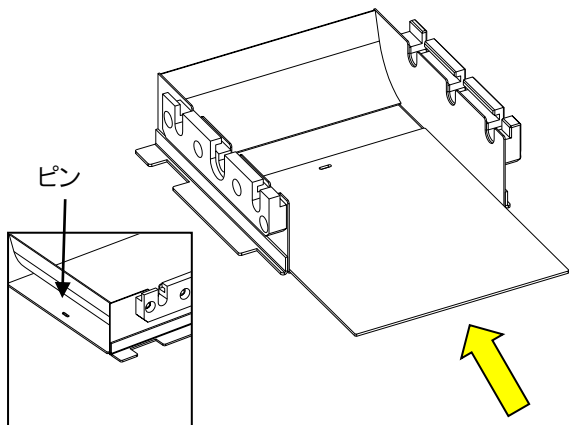
●固定プレートが差込部に差込めないときは、しゃり送りローラー(大)が奥まで確実に入っていませんので、奥まで確実に入れてください。

# 部品取付け方法

## □ホッパー(上)・(下)・底板/しゃり送り羽根の取付け方法

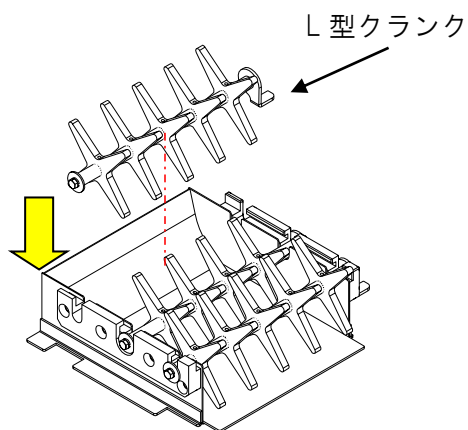
**危険**

部品を取付け・取外する時は必ず電源スイッチを切ること  
電源を入れたままホッパーの中には手を入れないこと！  
回転部(しゃり送り)に手を巻き込み大ケガの原因になります。



①初めにホッパー底板をホッパー(下)に前側より差込み後ろまでスライドさせ取付けます。

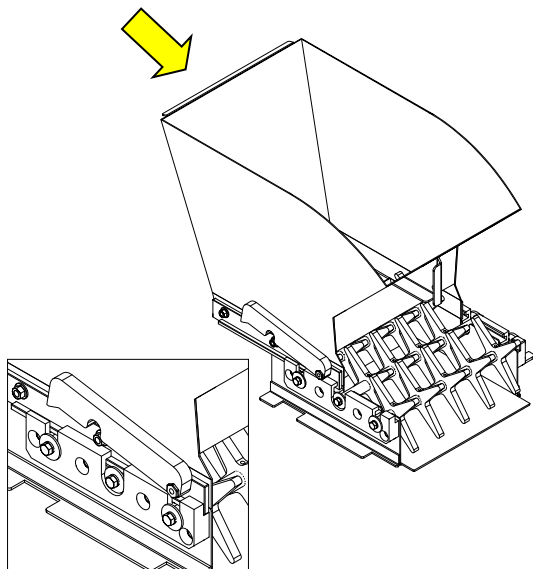
\* 底板後部の穴がホッパー(下)のピンにはまるように取付けて下さい。



②しゃり送り羽根3本を上から取付けます。

手前・奥/5枚羽根・中央/4枚羽根タイプ。

\* L型クランクが右側になるように取付けて下さい。



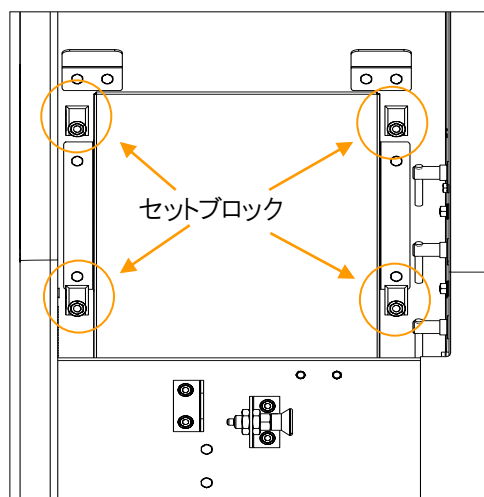
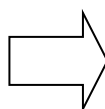
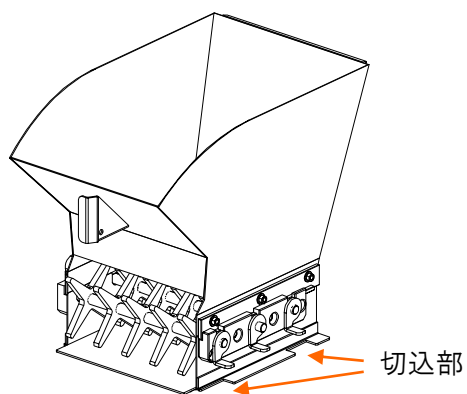
③ホッパー(上)をホッパー(下)の後部より差込み手前までスライドさせます。

# 部品取付け方法

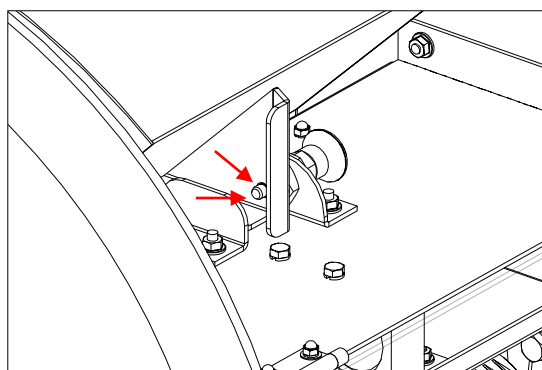
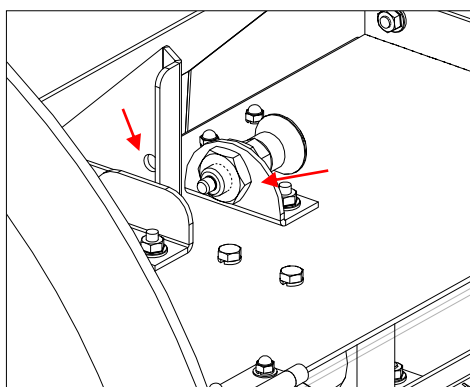
## □ホッパーの取付け方法



部品を取付け・取外する時は必ず電源スイッチを切ること  
電源を入れたままホッパーの中には手を入れないこと！  
回転部(しゃり送り)に手を巻き込み大ケガの原因になります。



- ①ホッパー(下)にある切込部(左右2カ所ずつ)と本体側にあるセットブロックの位置(左右2ヶ所ずつ)を合わせ、左右が水平になるように置いて下さい。



- ②切込部とセットブロックが確實セットできている事を確認し、手前に有るホッパーロックを止めます。
- ロックするとホッパー全体が1cm、手前にスライドします。
  - \* ホッパーロックが止められない時はホッパー(下)の切込部がセットブロックにきっちりとはまっていませんので確認して下さい。

## 各部品取外し/取付け手順



部品を取付け・取外する時は必ず電源スイッチを切ること。  
ケガや事故の原因になります。

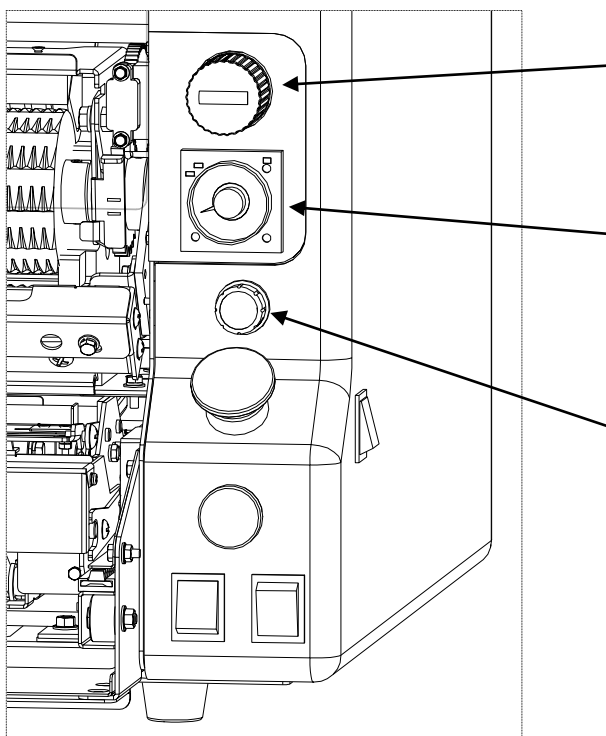
### 部品取外し手順

- ① ホッパーフタを取外します。
- ② ホッパー全体を取外します。  
\* 本体より取外し後にホッパー(上)・(下)・底板・しゃり送り羽根を分解します。
- ③ フロントカバーを外します。\* A型 115V 仕様のみ
- ④ シャリカッターを外します。\* A型 115V 仕様のみ
- ⑤ しゃり送りローラー(大)を取外します。
- ⑥ サイドプレートを外します。\* 兼用型の場合はローラーガイドも外します。
- ⑦ ロールユニット・ユニットベースを取外します。
- ⑧ しゃり送りローラー(小)を取外します。
- ⑨ ごみ受け皿を取外します。

### 部品取付け手順(\*しゃりカッターは下がった状態で行って下さい。)

- ① ごみ受け皿を取り付けます。
- ② ユニットベース・ロールユニットを取り付けます。
- ③ しゃり送りローラー(小)を取り付けます。
- ④ サイドプレートを取り付けます。\* 兼用型の場合はローラーガイドも取付けます。
- ⑤ しゃり送りローラー(大)を取り付けます。
- ⑥ ホッパーを取り付けます。  
\* ホッパー(上)・(下)・底板・しゃり送り羽根を先にセットした状態で取付けます。
- ⑦ しゃりカッターを取り付けます。\* A型 115V 仕様のみ
- ⑧ フロントカバーを取付けます。\* A型 115V 仕様のみ
- ⑨ ホッパーフタを取り付けます。

## 操作パネル



### □THICKNESS (しゃり厚さ調整ダイヤル)

ダイヤルを右側に回すと、しゃりの厚さが厚くなります。

左側に回すと、しゃりの厚さが薄くなります。

### □LENGTH(しゃり長さタイマー)

ダイヤルを右側に回すと、しゃりの長さが長くなります。

左側に回すと、しゃりの長さが短くなります。

\*しゃりの長さは18cm以上長くできません。

### □DENSITY (しゃり送り量ボリューム\*しゃりの密度)

このボリュームはホッパー内のしゃり送り羽根の回転速度と連動していますので「THICK」方向に回すと羽根が速く回転し、しゃりをたくさんローラー部に送ります。

しゃりがばらつくような時は「THICK」方向に、逆にしゃりが詰まりすぎて、つぶれているような時は「THIN」方向に調整して下さい。調整単位は半目盛ずつ調整して下さい。

●標準目盛 細巻時「5」 中巻時「6」 太巻時「7」

### □START (スタートボタン)

ボタンを押すと1回分作動します。

### □EMERGENCY STOP (非常停止ボタン)

赤いスイッチを押すと機械がその場で停止します。

再度、機械を作動させるときは赤いボタンを右に回すと赤いボタンが手前に飛び出しロックが解除されます。

### □POWER (電源スイッチ)

スイッチを「ON」側にすると電源が入ります。

「OFF」側にすると電源が切れます。

### □CUTTER (しゃりカッタースイッチ)

スイッチを「ON」側にするとしゃりカッターが上がります。「OFF」側にするとしゃりカッターが下がります。

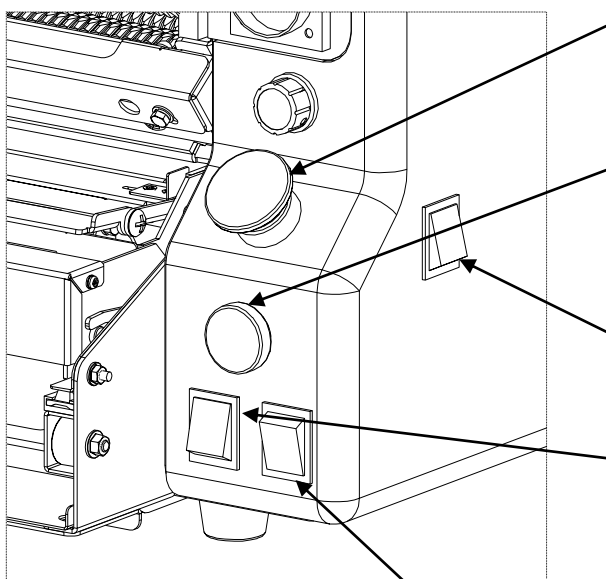
\*スイッチが「ON」側になっているとスタートボタンを押しても機械は作動しません。

### □WARMER(INSULATE)/保温ヒータースイッチ

スイッチを「ON」側にするとホッパー(下)の底部のヒーターが温まり、しゃりが冷えにくいように保温します。

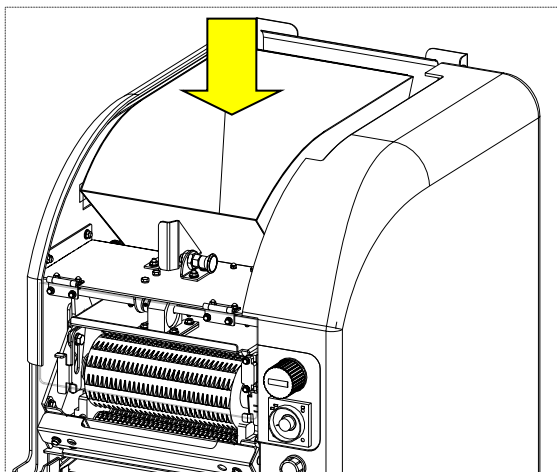
### 重要

この機能は完全保温でなく、元が人肌温度(35度以上)のしゃりを冷めにくくする為の機能です。徐々にしゃりは冷えてきますので、長時間しゃりを保温する事はできません。一度、冷えたしゃりを再度温める為のご使用は絶対に行わないで下さい。しゃりの腐食や品質劣化の原因になります。

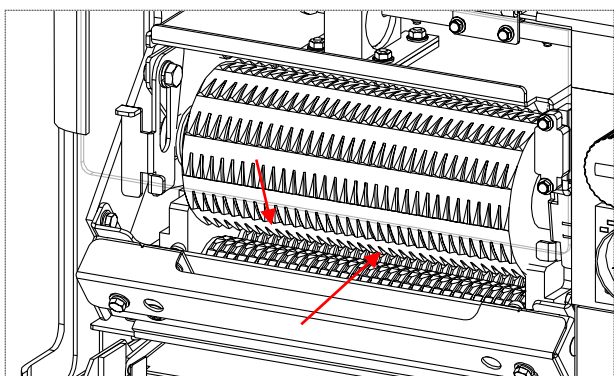




## 使用前・使用中のスプレーオイルをつける部分



- ①ホッパー内としやり送り羽根にスプレーオイルをスプレーして下さい。

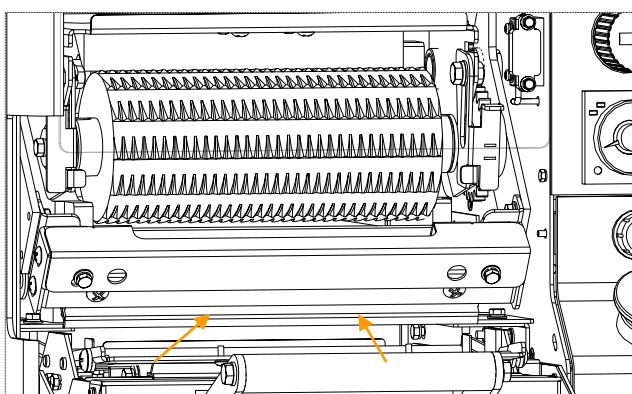


- ②しやり送りローラー(大)・(小)には使用する前に、本体より一度取外して、手のひらにオイルをスプレーして手で全体にぬりつけて下さい。

\*オイルを付けないと以下のような状態になることがあります。

- A、しやりがローラー(大)にめくりあがる。
- B、しやりが出てくる時にしやりカッターにひっかかる。
- C、しやりがばらばら出てくる。
- D、しやりの長さが短くなる。

◎以上のような場合はローラー(大)・(小)にしやりが付着していますので、一度②の作業を行って下さい。



- ③しやりカッター・しやりカッター受け台プレートには使用する前に手にオイルをスプレーして手で塗りつけて下さい。

\*オイルを付けないと以下のような状態になることがあります。

- A、しやりが出てくる時にしやりカッターにひっかかる。
- B、しやりが出てくる時にスライドテーブルにスムーズに落ちてこない。
- C、しやりカッターの切れが悪い。

◎しやりカッターにオイルをぬる時はスタートボタンを押ししやりカッターが上がった時に非常停止ボタンを押すとしやりカッターが上がった位置で止まります。

再度下げる時は非常停止ボタンを右に回し解除してスタートボタンを押して下さい。

## 操作手順説明

① 「EMERGENCY STOP/非常停止ボタン」が押されていないか確認する。

② 「POWER/電源」スイッチを入れる。

保温ヒーターを入れる時は「WARMER」を入れる。

④ しやりをホッパーに入れる。

⑤ 「THICKNESS/しやり厚さ」ダイヤルを合わせる。

⑥ 「LENGTH/しやり長さ」ダイヤルを合わせる。

⑦ 「DENSITY/しやり密度」ダイヤルを合わせる。

⑧ スタートボタンを押して2～3回しやりが整うまで空運転する。

●使用する前にはあらかじめホッパー内にスプレーオイルをスプレーして下さい。

しやり送りローラー(大)・(小)・しやりカッター・カッター受け台にスプレーオイルをぬりつけて下さい。

\*導入後は各部品にオイルがなじんでいませんので、必ず実施して下さい。

\*オイルを塗らなくても問題がなく使用できる場合は、必ずオイルをつける必要はありません。\*ただし付着するようなときはオイルをつけて下さい。

●ホッパー内にしやりが少なくなるとアラームが鳴りお知らせしますので続けて作業を行う時はしやりをホッパーに補充して下さい。

アラームは自動に止まりませんので、しやりの補充をしない時は「EMERGENCY STOP」ボタンを押しておいて下さい。

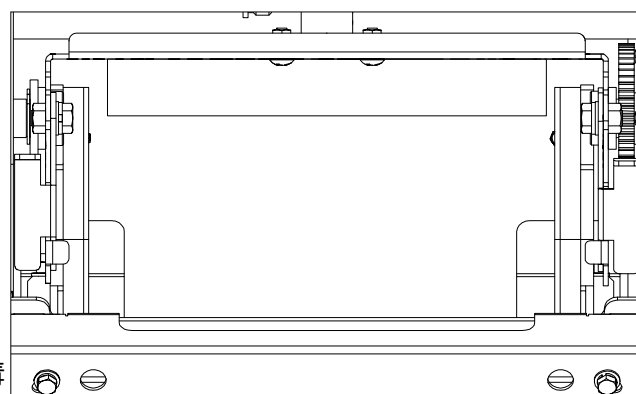
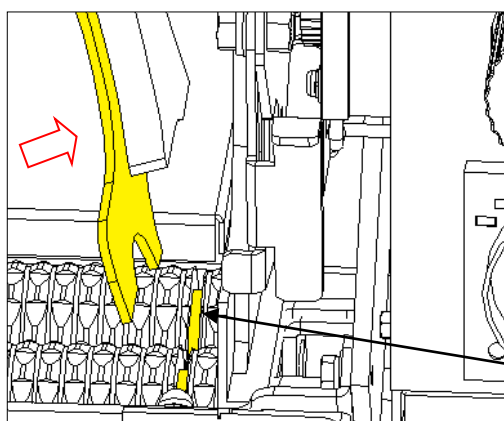
## たて巻・よこ巻切替方法 \*たて・よこ兼用型仕様の場合

**危険**

部品を取付け・取外する時は必ず電源スイッチを切ること  
電源を入れたままホッパーの中には手を入れないこと！  
回転部(ローラーに)に手を巻き込み大ケガの原因になります。

**ホッパーをいったん後ろ側にスライドさせてからでないとローラーガイドの取付け・取外しはできません。  
作業が終わったら、必ず再度ホッパーを手前側にセットしてから運転してください。**

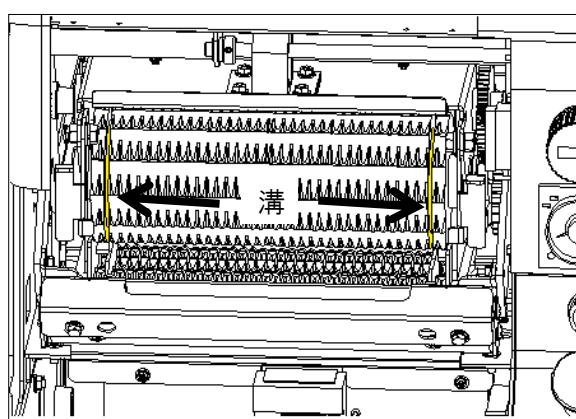
### ●たて巻時(左右にローラーガイドをセットする。)



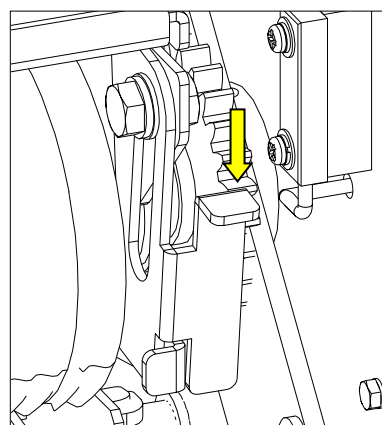
- ① ローラーガイドの下側をローラー(小)のセット溝に合わせながら、横側から差込んでいく。

\*右用・左用あり

\*この時、ローラーガイドのセット穴と本体にセット済みのサイドプレートにあるピンの位置を合わせてセットする。



- ② 左右のローラーガイドとローラー(大)の左右に有る溝を合わせてローラー(大)を奥まで確実に入れる。



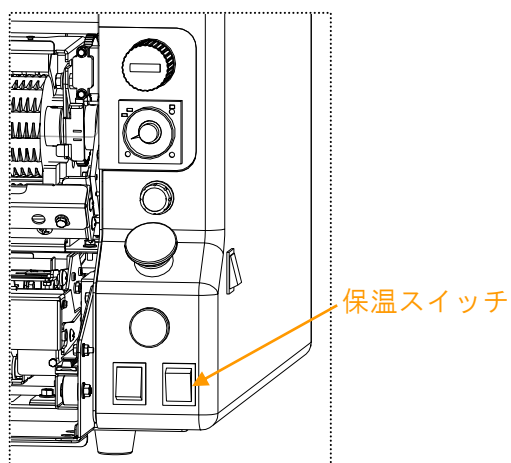
- ③ 最後にローラー(大)の左右に有るプレートをセットし完了。

### ●よこ巻時(左右のローラーガイドを外す。)

## 保温ヒーター

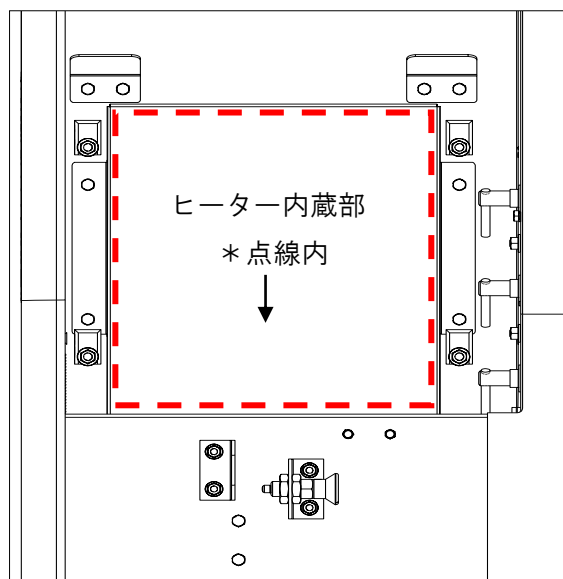
**危険**

ヒーター内蔵部は熱くなりますので直接手で触らないように注意して下さい。  
ヤケドの原因になります。



①保温スイッチを入れると右写真点線部に内蔵の保温ヒーターが入ります。

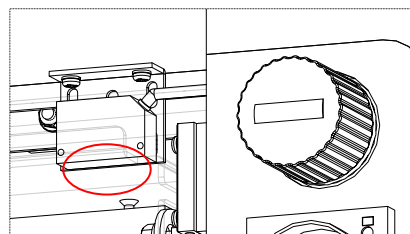
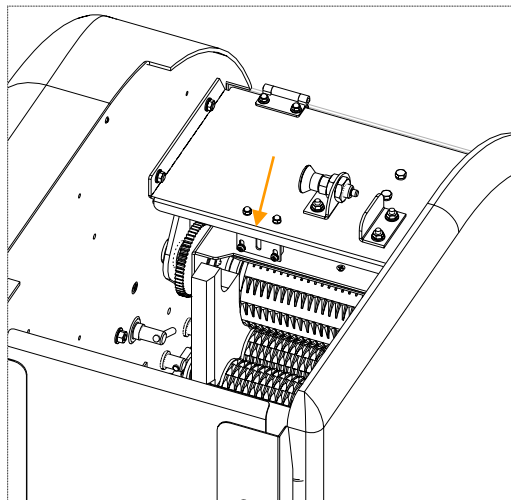
\*完全に温くなるまでに約5分かかります。



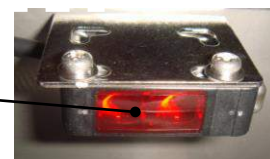
## しゃり送り羽根用センサー

**危険**

部品を取付け・取外しする時は必ず電源スイッチを切ること  
電源を入れたままホッパーの中には手を入れないこと！  
回転部(しゃり送り)に手を巻き込み大ケガの原因になります。



センサーレンズ面



① 本体矢印部にホッパー内のしゃり送り羽根用しゃりセンサーが取り付けられています。

\* しゃり送りローラー(大)の後ろ部分にしゃりが少なくなると自動的にしゃり送り羽根を回転させて一定量のしゃりを絶えず溜めておくための感知センサーです。

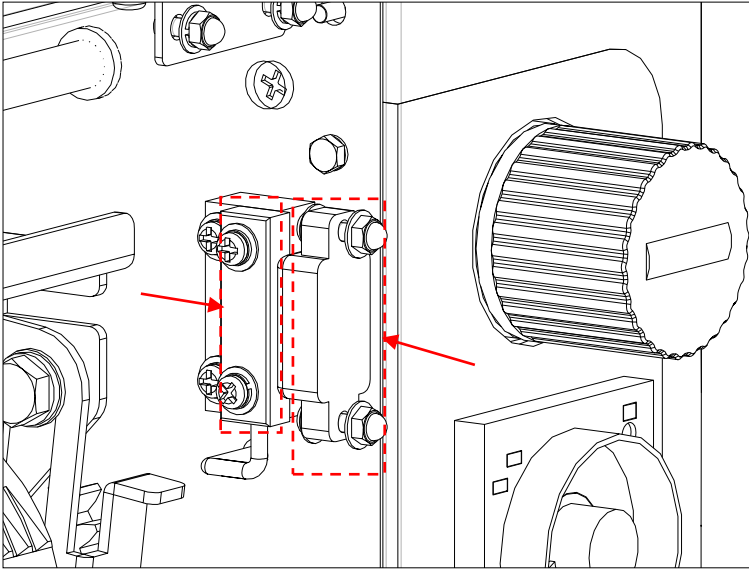
② 赤いレンズ面から下に向かってセンサーの光が発光しています。

\* レンズ面にしゃりや汚れが付くとセンサーが反応して自動的にしゃりを送らなくなりますので、毎日きれいにレンズ面は拭いておいて下さい。

## フロントカバー安全スイッチ

**危険**

部品を取付け・取外する時は必ず電源スイッチを切ること。  
ケガや事故の原因になります。



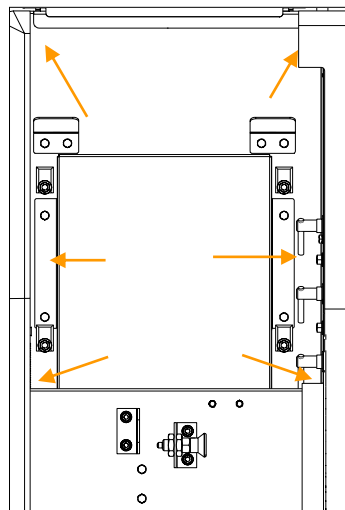
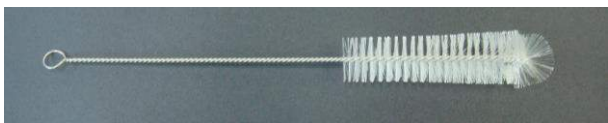
- ①フロントカバーを開くと安全スイッチが働き機械は作動しません。

# 本体各部清掃マニュアル



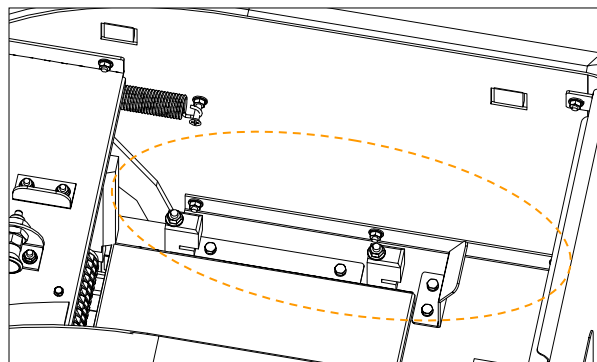
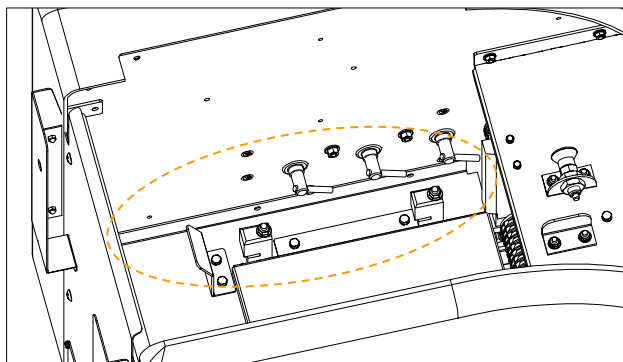
本体側の各部を洗浄する時は必ず電源スイッチを切ること  
回転部に手を巻き込み大ケガの原因になります。  
本体には絶対に水をかけて洗浄しないこと  
感電の原因になります。故障の原因になります。

## □本体側ホッパーセット部清掃方法



①御購入時に付属の専用ブラシにて本体側各部は清潔に清掃して下さい。

②本体側のホッパーセット部周辺を専用ブラシで清潔に清掃して下さい。\*各部左右共に



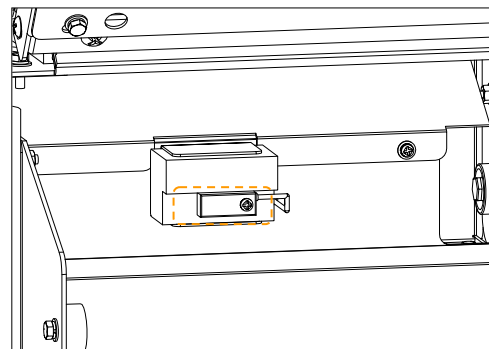
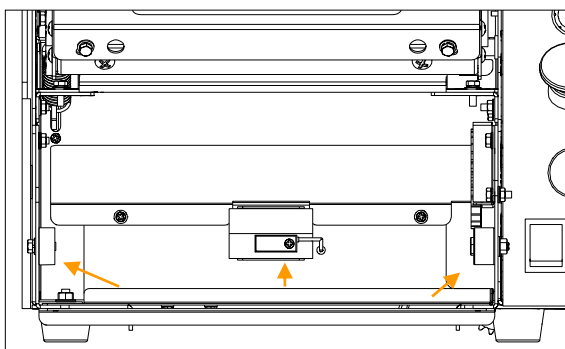


# 本体各部清掃マニュアル



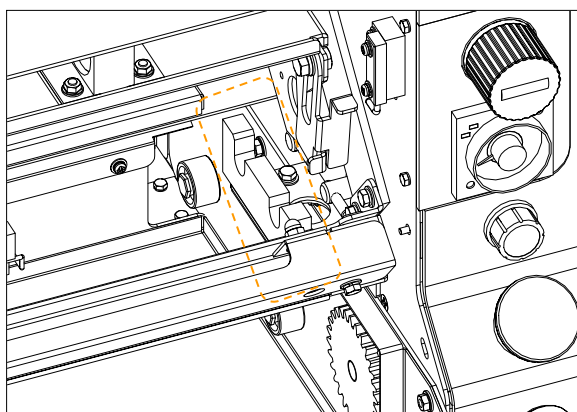
本体側の各部を洗浄する時は必ず電源スイッチを切ること  
回転部に手を巻き込み大ケガの原因になります。  
本体には絶対に水をかけて洗浄しないこと  
感電の原因になります。故障の原因になります。

## □本体側スライドテーブル部清掃方法



- ①本体側のローラー、およびセンサー部周辺を  
専用ブラシで清潔に清掃して下さい。  
\*各部左右共に

## □本体側しゃり送りローラー(小)部専用ブラシ洗浄方法



- ①本体側のしゃり送りローラー(小)セット部周辺を  
専用ブラシで清潔に清掃して下さい。  
\*各部左右共に

# サーキットプロテクター

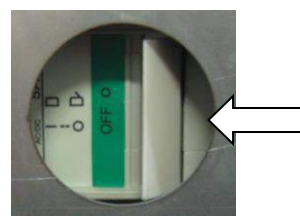
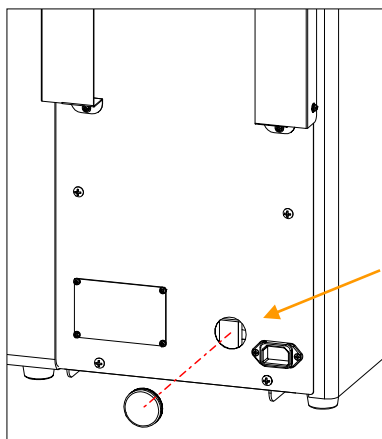
**危険**

メンテナンスを行う時は必ず電源スイッチを切ること。  
感電・ケガ・事故の原因になります。

## □サーキットプロテクター復帰方法

\* 安全性と機械保護のために本体背面にサーキットプロテクターを取付けています。

異常電流や漏電するとサーキットプロテクターが働き電源が切れますので以下の作業を行い復帰させて下さい。



① 本体の電源スイッチをいったん切って、本体背面の黒いゴムキャップを外します。

② サーキットプロテクターが「OFF」になっていたら矢印部を倒して「ON」にして下さい。



③ 「ON」にしてから再び本体の電源スイッチを入れて電源が入るか確認して下さい。

\* サーキットプロテクターが頻繁に「OFF」になる場合は一度販売店にお問合わせ下さい。

## 部品交換方法

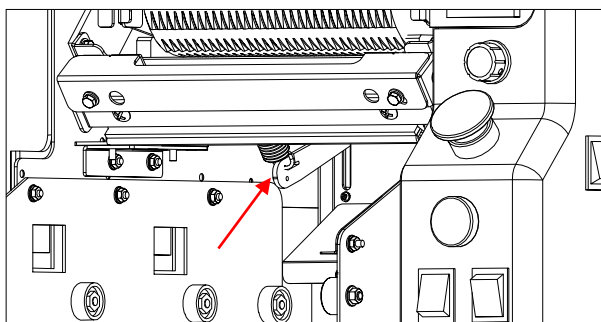
**危険**

部品の交換を行う時は必ず電源スイッチを切ること。  
感電・ケガ・事故の原因になります。

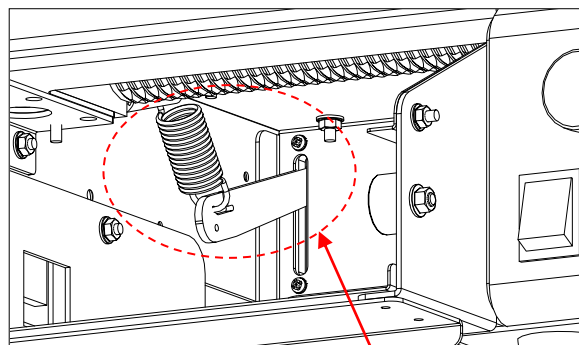
### □しゃりカッターバネ交換方法

\* 安全のために、しゃりカッター部はバネを組み込んでいます。

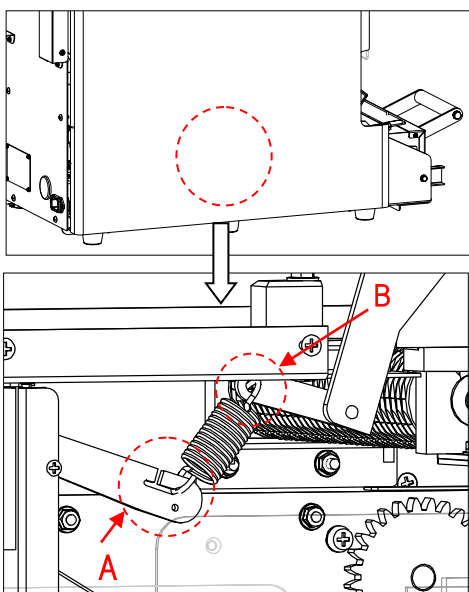
バネが切れるとしゃりカッターだけが作動しなくなりますので以下の手順で交換作業を行って下さい。



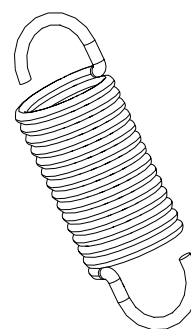
① 本体左(矢印部)にカッターバネが取り付けられています。



カッターバネ



② 上記の A と B の部分に有る切れたバネを取り除き  
新しいバネのフックを再び A と B の部分に引っかけて下さい。

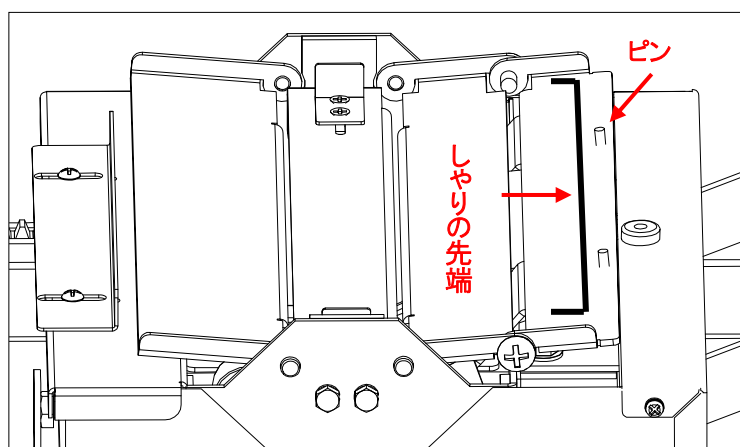


しゃりカッター用バネ

\* バネの予備は本体御購入時に予備品ケース内に1本付属しています。

交換用バネの御注文は販売店にお問合わせ下さい。

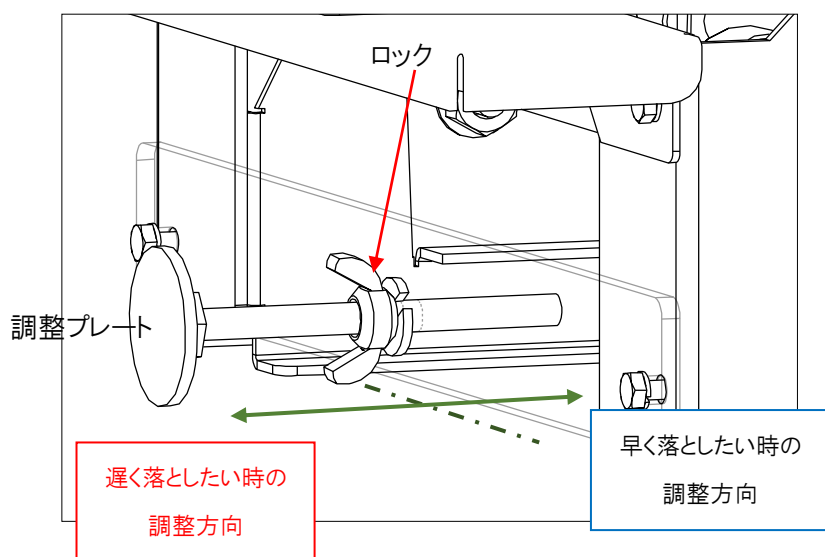
## 巻寿司をきれいに巻くには(しゃり落下位置調整方法)



**重要**

ピンから5mm後ろにしゃりの先端が落ちてくるように調整して下さい。

\* 5mmにならない時は柿の方法で簡単に調整ができます。



### 落下位置調整方法

- ① ロックをゆるめる。
  - ② 丸い調整プレートを調整したい方向に回転させる。
- \* 調整を終えたら再度ロックしておいて下さい。

## 故障かな？と思ったら

### ●電源が入らない時（スイッチのランプが何も点灯しない時）

- 本体の電源コードが差込口から抜けていないか確認して下さい。
- 本体を差込んでいる電源元(お店側)のブレーカーが切れていないか確認して下さい。
- サーキットプロテクターが「OFF」になっていないか確認して下さい。\*P22 参照

### ●機械が全く動かない時（スイッチのランプは点灯している時）

- 赤の「非常停止ボタン」が押された状態になっていないか確認して下さい。\*P13 参照
- 長時間の連続使用により本体内部の電器部品の高温遮断機能が働いている時がありますので電源スイッチを切ってしばらく時間を空けてから御使用してみてください。
- フロントカバーが上に開いたままになっていないか確認して下さい。\*P19 参照

### ●しゃりカッターが上下を繰り返す時

- 非常停止ボタンを押して、機械を一度停止させて下さい。

### ●しゃりが出てくる時にしゃりカッター・カッター受け台にひっかかる時

- しゃりカッター・カッター受け台にオイルを塗りつけて下さい。\*P14 参照

### ●しゃりがばらばら出てくる・短く出てくる。

- 本体よりしゃり送りローラー(小)を一度取外し、いったん水できれいに洗浄してオイルをローラー全体にぬりつけてから再度本体に取付けて下さい。\*P14 参照

### ●しゃりがしゃり送りローラー(大)にめくり上がる時

- 本体よりしゃり送りローラー(大)を一度取外し、いったん水できれいに洗浄してオイルをローラー全体にぬりつけてから再度本体に取付けて下さい。\*P14 参照

### ●ホッパー内のしゃり送り羽根が回転しない時

- 操作パネルのしゃり送り量用ボリュームが「0」になっていないか確認して下さい。\*P13 参照
- しゃり送り羽根用センサーのレンズ面が汚れていないか確認して下さい。\*P18 参照

### ●しゃりカッターだけが作動せず全く下がらない時

- 安全装置のバネが切れていますので新しいバネに交換して下さい。\*P23 参照

### ●目盛を合わせても、しゃりの長さが流れ続ける時・少ししか出てこない時

- しゃり長さタイマー(LENGTH)が湿気や水がかかって故障していますので新しいタイマーに交換して下さい。\*P24 参照